

# 石川生まれの「月の友」 これまでもとこれからを語る

布団の販売で知られている全国月の友の会（以下、月の友）は今年、創立50周年を迎えました。現在、本社は京都市にありますが、同社の歴史をひも解いてみると、そのルーツは石川県にあります。同社の歩みや経営理念について、北國新聞社論説委員の小倉正人氏が月の友の中嶋潔社長に聞きました。



株式会社全国月の友の会代表取締役社長

中嶋 潔氏

1949（昭和24）年、金沢市生まれ。石川県立金沢泉丘高等学校卒。1973年早稲田大学商学部卒。

## 寝具改善をスローガンに。その一念で事業を立ち上げ

**小倉**●創立50周年、おめでとうございませう。月の友の創業の地は金沢市小橋町です。実は私も小橋の付近で生まれ育ちまして、おぼろげながら創業当時の会社の様子も記憶しています。

**中嶋**●それは奇遇ですね。私も小橋で育ち、小將町中学校で学びました。月の友は私の父、中嶋賢三が昭和34年に浅野川畔の水月旅館に集まった打綿業者の仲間たちと共に創業し、美しい月、夜に使う寝具、月賦販売からイメージし、命名しました。従って、創業で言えば今年で55年になります。

**小倉**●そうでしたか。本社を移転したのはどうしてでしょう。

**中嶋**●月の友は創業するにあたり、大評判を呼び、全国にその勢いが広がっていききました。そこで、5年後の昭和39年に社名を「全国月の友の会」として、京都市山科に本社を移したのです。その年から数えると今年で

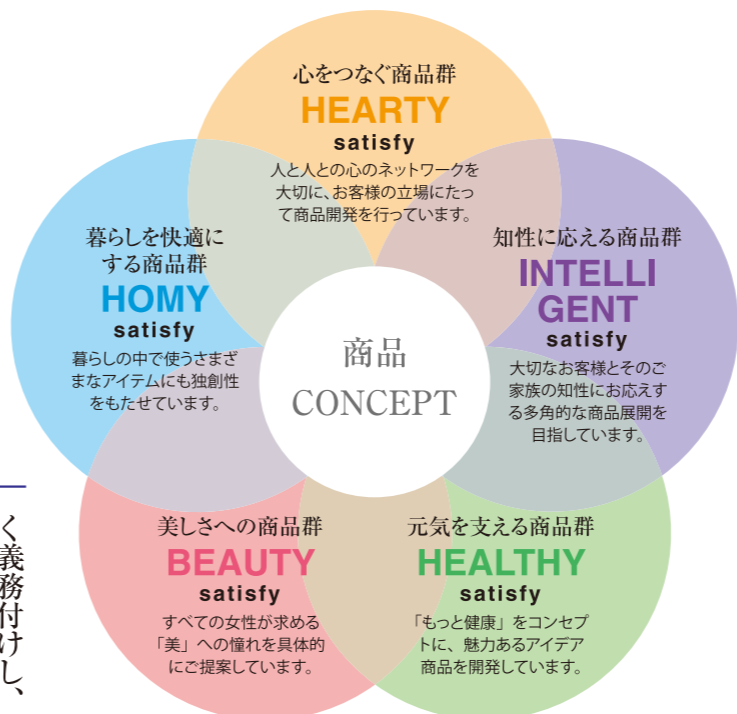
ちょうど50周年となるわけです。

**小倉**●昭和39年と言えば、東京オリピックが開催された年ですね。**中嶋**●ええ。東海道新幹線が開通したのもその年で、当社の本社ビル前を新幹線が走り出しました。**小倉**●月の友は布団の販売から事業をスタートしたわけですが、どのように事業を拡大させていったのですか。

**中嶋**●当社が創業したころの日本は岩戸景気に沸き、白黒テレビや洗濯機、冷蔵庫の三種の神器を手に入れることで家庭に喜びと幸せがやって来はじめた時代です。しかし、さあ寝ようとなると、どの家庭も古くて粗末な重い布団で、寒い思いをしながら眠りにつくのが一般的でした。

**小倉**●確かにそうでした。私自身もせんべい布団で寝ていて、ふかふかの布団は憧れでした。

**中嶋**●当時は木綿わたの重い布団を打ち直して使い続けることが普通でしたが、月の友ではそれを、合繊を使った軽くて暖かく、洗えて衛生的な布団に変えようと改善運動を起



したのです。全国各地の婦人会に協力を得て、寝具改善の講習会を展開いたしました。また、日本各地の何千人もの会員店主が戸別に訪問して寝具改善を訴えました。こうした取り組みがどんどん広がり、やがて全国に100万人のお客様の輪が出来上がったのです。

## 全国100万人のお客様を家族とお呼びかけ

**小倉**●100万人のお客様から支持を集める秘訣は何でしょうか。**中嶋**●親が子を愛し、子が親を想う心、この気持ちを持ってお客様に接するというのが企業哲学の追求にあると思っています。

**小倉**●具体的にどのようなことを指すのでしょうか。

**中嶋**●お客様の自宅に訪問する販売員を社員やセールスマンではなく、事業主として採用し、一人ひとりが正しい事業主として活動することを旨としました。その地域に元々住んでいる人で、信用のある人を厳しく

選別して、その地域の責任者として任命しました。そして、その人には「一人の正しい人間であれ」「うそ、インチキ、ごまかしをしない」「すべてをガラス張りにする」「お客様を家族とお呼びかけ合いなする」ことを企業哲学として厳しく義務付けし、それに反した行動をする人は月の友から除名しました。このことは50年たった今も脈々と続いています。

**小倉**●なるほど。商売にかける真摯な企業姿勢が伝わってきます。**中嶋**●もうひとつ要因を上げると、友人では、まず実際に布団を使っていただき、良いと思ったら翌月から毎月5分の1ずつ5回払いで支払っていたようにしました。金利はゼロです。そして、使用途中の商品に不都合を感じた場合はいつでも返品、取り替えに応じることにしました。

**小倉**●クリーニング・オフ制度が整備される以前から、それ以上のサービスを提供しているわけですね。

が、商品力こそがお客様に長く愛される理由ではないですか。**中嶋**●そうですね。良い商品を提供することが何より大切です。そのため、メーカー各社とも家族のような関係を築き上げ、商品企画から完成まで2年も3年もかけてどこにもないオリジナル商品を作り上げていきます。

**小倉**●最近のヒット商品には、どんなものがありますか。**中嶋**●2年がかりで開発した掛け布団「ウイーンフィースト」が好評です。これは内部に微細な穴を開けた中空糸を用いた合繊綿とヨーロッパ産ホワイトダックダウンを重ねたハイブリッド構造の布団です。軽く保温性と吸放湿性に優れ、家庭で丸洗いできる点が喜ばれています。

**小倉**●寝具のほかにも、さまざまな分野の商品にチャレンジしているそうですね。**中嶋**●ええ。現在は布団など暮らしを快適にする「HOMOY」、婦人衣料など美しさを追求する「BEAUTY」、特定保健用食品など健康を支える「HEALTHY」、旅行商品など心をつなぐ「HEARTY」、知的欲求にこたえる「INTELLIGENT」の5つを開発コンセプトに据え、商品展開しています。すべて合わせる数千アイテムになるでしょうか。

**小倉**●それは大変な数ですね。かつての寝具改善運動のような活動は行っているのですか。**中嶋**●今から10年前にライフサイエンス研究所を設立し、所長で人間科学博士の中嶋大渡が全国各地で健康教室を開催しています。テーマは血管や腸の健康、加齢や生活習慣が原因で足腰の機能が衰える

ロコモティブシンドロームなどさまざままで、分かりやすいと好評をいただいています。

**小倉**●これからの月の友の取り組みについて聞かせてください。**中嶋**●創立50周年に向け、これまで培ったノウハウを結集させた記念商品企画、発表していきますが、商品にとどまらず、サービスにも広がっていきたくと思っています。例えば、グループ会社の月の友観光が企画するどこにもない月の友らしい旅行プランを全国規模で実施する予定です。また、全国各地でお茶を楽しみながらこだわりのシヨッピングもできる独特なカフェステーションの設置を計画しています。月の友は信頼していただけの人の輪、ヒューマンネットワークこそが企業としてのコア・コンピタンスです。こうした取り組みを通して、100万人のヒューマンネットワークをさらに大きくしていきたいですね。

**小倉**●50周年を機に、ますますの発展を期待しています。



北國新聞社論説委員 小倉 正人氏

1946（昭和21）年、金沢市生まれ。1970年立命館大学文学部卒。1971年北國新聞社入社、社会部長、学芸部長、出版局長などを経て現職。



TLライフサイエンス研究所



TLライフサイエンス研究所 所長 中嶋 大渡 博士 (人間科学・早稲田大学)

## ベストメントはおなかの善玉菌を育てます

明るく楽しく毎日を過ごすために、毎日のベストメント習慣でスッキリ快調!!

近年健康と美容には腸内をキレイにすることが重要であるということが認知されつつあります。そのポイントは腸内の善玉菌が多く優位な状態を保つことにあります。善玉菌の代表であるビフィズス菌は加齢や食生活の変化、ストレスなどで減少するデリケートな生き物です。そのビフィズス菌を増やすことができれば、健康と美容に良い影響が出てくるのです。ベストメントの乳果オリゴ糖は腸内の善玉菌ビフィズス菌を育て増やします。

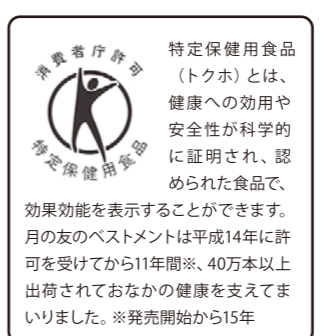
## 創業の地、石川にお礼を

### トクホ飲料を無償で提供

全国月の友の会では、50周年記念事業の一環として、これまでの感謝と創業の地である石川県の皆様へのお礼を兼ね、今年、トクホ飲料「ベストメント」を県内の老人福祉施設に無償提供することを計画しています。ベストメントはおなかの調子を良好に保つ乳果オリゴ糖飲料で、特定保健用食品の許可を受けています。腸内環境を整え、健康づくりをサポートします。



ビフィズス菌を増やして育てる  
乳果オリゴ糖  
排便が増える!



## ベストメント1本(1000ml)を抽選で

# 30名様にプレゼント!!

【応募方法】 ①住所(〒)、②氏名、③年齢、④電話番号を明記の上、ハガキで〒920-8588 北國新聞社 営業局広告部「ベストメントプレゼント係」まで応募して下さい。  
【応募締め切り】 1月14日(火) 必着

※応募者の個人情報、プレゼントの発送のみに使用します。※当選者の発表は発表をもって代えさせていただきます。